

お宅のブロック塀は大丈夫ですか？

平成30年6月18日に大阪府北部で発生した地震では、小学生が倒れたブロック塀の下敷きになって亡くられました。平成28年4月に発生した熊本地震など、過去に発生した地震においてもブロック塀の倒壊により、多数の死傷者が出ています。

正しく施工されていないブロック塀や、老朽化したブロック塀は、地震時に倒壊して、通行人に危害を及ぼすおそれがあるだけでなく、避難・救援活動の妨げになる可能性がありますので、日ごろから所有者の責任による適切な管理が必要です。

主なチェックポイント

気になる点が一つでもあれば、建築士などの専門家に相談しましょう。

○塀の高さは、地盤面から2.2メートル以下（ブロック10段程度）ですか？

○塀の長さ3.4メートル（ブロック8個程度）以下ごとに控壁（ひかえかべ）がありますか？（塀の高さが1.2メートル以下の場合は控え壁がなくてもよい。）

○コンクリートの基礎はありますか？

○塀が傾いていたり、ひび割れていたりしていませんか？

○鉄筋が、縦横とも80センチメートル以下の間隔に入っていますか？

お問い合わせ先

岐阜県中濃建築事務所

☎0574-25-3111（内線333）

美濃市建設部都市整備課

☎0575-33-1122（内線233）

ブロック塀の点検のチェックポイント

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

1. 塀は高すぎないか

・塀の高さは地盤から2.2m以下か。

2. 塀の厚さは十分か

・塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合には15cm以上)

3. 控え壁はあるか。(塀の高さが1.2m超の場合)

・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。

4. 基礎があるか

・コンクリートの基礎があるか。

5. 塀は健全か

・塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

6. 塀に鉄筋が入っているか

・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
 ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。

